

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成22年>>

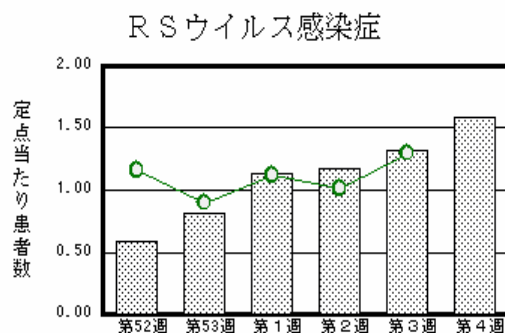
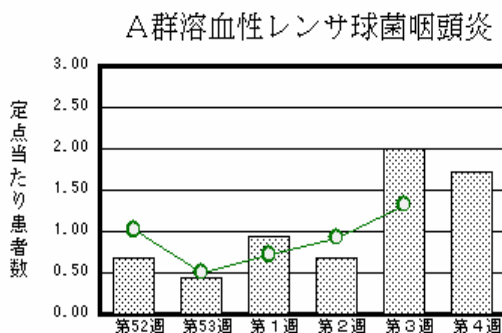
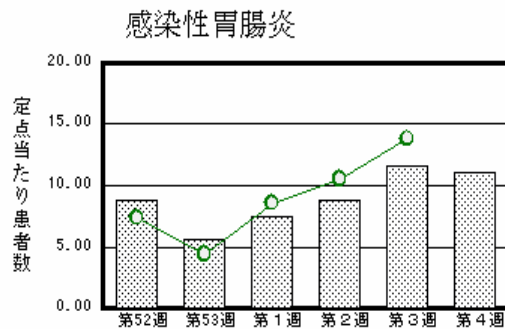
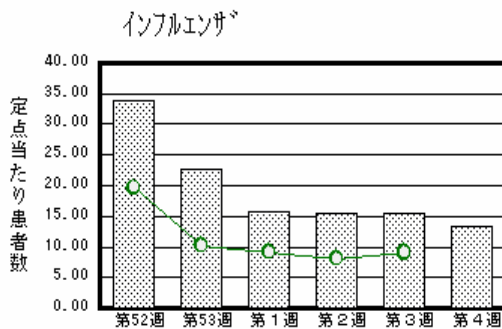
<週報> 第4週 (平成22年 1月25日 ~ 1月31日)

発行日: 平成22年2月3日

発行: 福井県健康福祉部健康増進課
福井県衛生環境研究センター
kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

- 【今週の上位5疾患】 インフルエンザ429名(13.41名) 感染性胃腸炎244名(11.09名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎38名(1.73名) RSウイルス感染症35名(1.59名) 水痘33名(1.50名)
()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】 インフルエンザ(429名) 感染性胃腸炎(244名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(38名) RSウイルス感染症(35名) 水痘(33名)
- 【インフルエンザ】 報告数は429名です。定点当たり報告数は減少しました(15.59名 13.41名)。地域別に見ると、奥越地区37.67名、福井地区16.09名、若狭地区8.33名、二州地区8.00名、丹南地区8.00名、坂井地区6.00名の順となっています。
- 【感染性胃腸炎】 報告数は244名です。定点当たり報告数は減少しました(11.59名 11.09名)。地域別に見ると、福井地区14.57名、奥越地区12.00名、坂井地区11.00名、二州地区11.00名、丹南地区9.40名、若狭地区2.50名の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】 報告数は38名です。定点当たり報告数は減少しました(2.00名 1.73名)。地域別に見ると、二州地区3.33名、丹南地区2.80名、坂井地区2.00名、福井地区1.00名、奥越地区0.50名の順となっています。
- 【RSウイルス感染症】 報告数は35名です。定点当たり報告数は増加しました(1.32名 1.59名)。地域別に見ると、奥越地区5.50名、福井地区1.86名、坂井地区1.67名、二州地区1.00名、丹南地区0.60名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2010年第2週号(1月11日~1月17日)要点

発生動向総覧	<第2週> 百日咳の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い/その他最新動向 <12月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症について
注目すべき感染症	<インフルエンザ> 第2週の定点当たり報告数は8.13となり、2009年第49週以降減少が続いている
病原体情報	インフルエンザウイルス2009/10 シーズン / 感染性胃腸炎関連ウイルス2009/10 シーズン
速報	<今週は該当記事はありません>
海外感染症情報	パンデミックインフルエンザ(H1N1)2009 - 検査診断例の公式報告数
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:報告はありませんでした。
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:報告はありませんでした。
(なお、平成21年第46週にレジオネラ症1名の報告がありました。)
- 5類感染症全数把握対象:アメーバ赤痢1名の報告がありました。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成22年 第4週 平成22年1月25日(月)～平成22年1月31日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(3週)
インフル エンザ (32)	インフルエンザ (鳥インフルエンザ を除く)	177 16.09	18 6.00	32 8.00	25 8.33	113 37.67	64 8.00	429 13.41	499 15.59	43436 9.03
小児科 (22)	RSウイルス感 染症	13 1.86	5 1.67	3 1.00		11 5.50	3 0.60	35 1.59	29 1.32	3931 1.30
	咽頭結膜熱			1 0.33			1 0.20	2 0.09	4 0.18	411 0.14
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	7 1.00	6 2.00	10 3.33		1 0.50	14 2.80	38 1.73	44 2.00	4027 1.33
	感染性胃腸炎	102 14.57	33 11.00	33 11.00	5 2.50	24 12.00	47 9.40	244 11.09	255 11.59	41927 13.81
	水痘	6 0.86	6 2.00		1 0.50	4 2.00	16 3.20	33 1.50	41 1.86	3873 1.28
	手足口病	4 0.57	1 0.33				7 1.40	12 0.55	9 0.41	390 0.13
	伝染性紅斑			7 2.33				7 0.32	3 0.14	278 0.09
	突発性発しん	1 0.14	1 0.33	3 1.00			4 0.80	9 0.41	12 0.55	1703 0.56
	百日咳									68 0.02
	ヘルパンギーナ								2 0.09	74 0.02
	流行性耳下腺 炎	12 1.71		3 1.00				15 0.68	14 0.64	1823 0.60
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎		*	*	*	*				6 0.01
	流行性角結膜 炎								1 0.33	307 0.45
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								2 0.33	10 0.02
	無菌性髄膜炎		*							3 0.01
	マイコプラズマ肺 炎									138 0.30
	クラミジア肺炎(オム 病は除く)									10 0.02

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

*欄には定点はありません

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成22年第4週

平成22年1月25日(月)～平成22年1月31日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	
～5ヶ月		～5ヶ月	11		1					1				～5ヶ月							
～11ヶ月	4	～11ヶ月	2			17				3				～11ヶ月							
1歳	12	1歳	8	1	1	39	8	9	1	4			3	1歳							
2歳	9	2歳	8		2	32	10	2	2				1	2歳							
3歳	29	3歳	5	1	6	31	5	1	1	1			3	3歳							
4歳	24	4歳	1		8	18	7						2	4歳							
5歳	21	5歳			4	15	1						4	5歳							
6歳	39	6歳			6	16	1		3				1	6歳							
7歳	25	7歳			1	8							1	7歳							
8歳	28	8歳			2	5								8歳							
9歳	24	9歳			2	9								9歳							
10～14歳	103	10～14歳			5	30								10～14歳							
15～19歳	31	15～19歳				12								15～19歳							
20～29歳	18	20歳以上				12	1							20～29歳							
30～39歳	29													30～39歳							
40～49歳	15													40～49歳							
50～59歳	10													50～59歳							
60～69歳	3													60～69歳							
70～79歳	3													70歳以上							
80歳以上	2																				
合計	429	合計	35	2	38	244	33	12	7	9			15	合計							
前期計	499	前期計	29	4	44	255	41	9	3	12		2	14	前期計		1	2				
当期間/前期	0.86	当期間/前期	1.21	0.5	0.86	0.96	0.8	1.33	2.33	0.75	***		1.07	当期間/前期	***			***	***	***	***
増減数	-70	増減数	6	-2	-6	-11	-8	3	4	-3		-2	1	増減数		-1	-2				

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき